

<地元小学校の児童が農業体験学習のため来所しました>

去る7月29日から延べ二日間にわたり、地元の古川小学校5年生の児童が当研究所を訪れ、身近な農作物であるお米について、圃場を見ながら学習しました。当研究所の稲担当職員から、飛騨地域や県全体のお米の品種や、田んぼに居る虫や稲の病気などについて実際の田んぼを前に説明し、児童の反応も上々でした。夏休みのよい思い出となることを、職員一同願っています。



京

